

# 北海道学び推進月間の取組

檜山教育局  
令和2年12月4日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

今年度も檜山管内の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組や「北海道学びの推進月間」の標語の審査結果を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考としてください。

## ○ せたな町立若松小学校の取組

### オンラインを活用した教育活動の充実

本校は、小規模校のため、児童が他校の同じ学年の児童の考えを少しでも多く聞くことができるよう、今年度からZoomを使用したオンライン学習を始めました。その結果、児童には「他の人の考えをしっかりと聞こう。」とする態度や、「今話している人と私の考えが似ている。」など、自分の考えと比較しながら聞く力が高まってきています。

冬休み中には、Zoomを使用して児童に連絡を取り、家庭学習の中で分からなかった問題について質問に答えたり、冬休みの生活の様子について教えてもらったりする取組を行う予定です。

今後は、児童の学びが一層充実するよう、Zoomなどを効果的に使用し、「確かな学力」の定着に向けて取組を進めていきたいと考えています。



【オンラインで他校と交流学習】

## ○ 北海道奥尻高等学校の取組

### 「シームレスラーニングコンテスト」の開催

本校では、Society5.0に向け必要とされるSTEAM教育の推進や「基礎的読解力・数学的思考力・情報活用能力」の育成を図ることを目的に「シームレスラーニングコンテスト」を行っています。

取組の一つとして、「もし自分が五輪担当大臣だったら、オリンピックに向けた問題点と改善するための政策をどう考えるか」という課題について、各教科で学んだことを関連付けて考えながら、グループで協議したり、オリンピックを楽しむための啓発ポスターを英語で作成しました。作成したポスターは、教師が審査員となって、コンテストを行い、優秀作品は冊子にまとめて共有することで、生徒は学びを相互に振り返り、それぞれの成果や新たな課題を見つけ出すことができました。

今後も、より一層、生徒一人一人の学習意欲の向上を図るとともに、教科の枠を超えた多様な学びの機会の充実をさせていきます。



【グループ活動の様子】

## 「北海道学び推進月間」標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 江差町立江差小学校5年 上野更紗さん

「学ぶのは 未来を変える 第一歩」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 乙部町立乙部小学校6年 厚別純花さん

「きりひろく その先学びの ルートあり」

せたな町立若松小学校6年 藤田崇史さん

「学びとは みんなに広がる 宝物」

せたな町立瀬棚中学校2年 澤田侑沙さん

「できないは できるを増やす きっかけだ」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。